

和光



発行 〒894-0007 鹿児島県奄美市名瀬和光町1700番地

国立療養所 奄美和光園

電話(0997)52-6311 FAX(0997)53-6230

令和2年5月1日
(2020)

第117号

- 表紙.....1
- 患者様の権利.....2
- 退職者・異動者挨拶.....3~5
- 新人紹介.....6~8
- 節分・豆まき.....8
- お花見会.....9

- 令和元年度国立ハンセン病療養所研究委員会の開催.....10
- 生物学的製剤使用施設認定取得.....11
- 社会交流会館工事始まる.....12
- 奄美和光園の歴史 パートI12~13
- NST News Letter14~15
- 令和元年度診療統計.....15
- 人事異動・和光園日誌・今後の行事予定・編集後記.....16

基本理念

私たちは、入所者一人ひとりの生命の尊厳と人権を守り、豊かな自然環境につつまれた穏やかで心豊かな療養生活と、安全で安心できる医療を提供します。



基本方針

1. 入所者の終の棲家として心穏やかな暮らしを支えることを基本とします
2. 入所者自治会とよく話し合い 入所者本位の運営に努めます
3. 入所者一人ひとりの日々の変化にきめ細かく対応いたします
4. ハンセン病による後遺症や合併症の対策をしっかりと行います
5. 入所者が高齢化していることを念頭に置き 健康保持の活動や生活を支える医療 さらには感染予防・認知症対策に重点を置きます
6. 地域医療とも連携し 適切で標準的な医療の提供に努めます
7. ハンセン病に対する正しい知識を普及させるため 啓発活動に努めます
8. 開かれた療養所となることを目的に地域社会との交流促進に努めます
9. 入所者の健康と安全な生活に貢献できるようすべての職員の質の向上に努めます

患者様の権利

★人格を尊重した医療を受ける権利

誰でも、どんな病気でも、安全で良質な医療を平等に受ける権利と、個人の人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力関係のもとで医療を受ける権利があります。

★医療に関する十分な説明を受ける権利

検査、治療等について、あるいは他の治療方法について、納得されるまで十分な説明を受ける権利があります。

★個人情報保護の権利

診療の過程で得られた個人情報やプライバシーが守られ、個人の尊厳が保たれる権利があります。

★診療情報の提供を受ける権利

ご自身の診療録の開示を請求する権利があります。

★検査や治療等の自己決定権の権利

検査、治療法などの選択、あるいは拒否をする権利があります。

また、セカンドオピニオンを受ける権利があります。

患者の皆様へ

- ご自分の健康に関する事を詳しく正確にお話し下さい。
- あらゆる危険を回避するために職員との連携にご協力下さい。
- よりよい医療・療養・生活環境を維持するために入院の規則をお守り下さい。



国立療養所 奄美和光園

H22.5.22 作成

退職者・異動者挨拶

お世話になりました

定年まで残りわずかというときに思いがけない転勤の話、正直びっくりし、まさかまさかと心の動揺も静まらぬままに奄美にやって参りました。初めての仕事内容に戸惑うこともありましたが、職員や入所者の皆さんのお優しさに助けられ、アッという間に2年が過ぎました。奄美での思い出は海や空の色、季節ごとの花や鳥、そして行事の後のみんなで踊る島のブルースと和光園

歌。寂しくなったら一人で踊っているかも？

次は仕事ではなく友人として訪ねて来たいと思っていますので、その時はどうぞよろしく！2年間ありがとうございました。

副総看護師長 谷村 優子

定年退職にあたって

昭和55年1月から平成令和、入所者の皆様、職員の皆様には大変お世話になり、感謝の気持ちで一杯です。無事、定年を迎えたのも皆様のお陰だと思っております。

奄美和光園に就職し、介護職の知識もなく不安な思いでしたが、入所者、職員の方々の指導、励ましの言葉に支えられ今日まで続けることができました。私の好きな詞「見よ天地はあたらしく、世紀の光によみがえり、恵あまねく垂れ給う、ああ尊しやわが命、自然のふところあたたかに、生きとし生けるものなべて、ともに守らんはからよ、幸のみそのの和光園」人生で多くの事を学び日々、色々な所に光と幸を送り

続けることの大切さという泉芳郎先生の思いが伝わってきます。退職後は主人の鍼灸院の手伝いをしながらフラワーアレンジメントの仕事を思っております。

龍郷町は美味しい焼酎（里の曙・長雲）と、春は桜がきれいです。お近くにお越しの際はぜひ声をおかけください。焼酎で歓迎致します。

最後に皆様、お身体くれぐれもご自愛下さい。本当にお世話になり有り難うございました。

不自由者棟 介護長 元久 明子

お世話になりました

平成4年4月に始まった和光園での仕事人生。皆様のご支援、ご協力のお陰で無事、定年退職まで勤めあげる事ができました。ありがとうございます。

福祉室、不自由者棟、病棟とめぐり仕事をさせていただく中で、たくさんの知恵や知識が自然と身についたと嬉しく思っています。

最後に公私共に支えて頂いたすべての方々に感謝しお別れのご挨拶とします。本当に長い間、お世話になりありがとうございました。お元気でお過ごしください。

不自由者棟 介護員 橋口 君子

お世話になりました

約6か月という時間でしたが、療養所の歴史、入所者の暮らしづくりを知ることができました。現在の療養所の在り方として、地域社会に貢献するという理念のもとに、外来診療を行い、また地域の行事に療養所を積極的に開放することで、地域社会に貢献していることも知ることができました。もちろん根底には入所者の健康、安心、安全を守ることが第一という考えがあります。

最後になりますが、このような機会を与えてくださった加納園長には心より感謝いたします。これから的人生において、ハンセン病に対する正確な知識をしっかりと伝えていくことが自分の役目かなと感じました。短い間でしたが、ありがとうございました。

外科医長 恵 浩一

お世話になりました

平成29年4月に奄美和光園に転任し、あっという間の3年間が過ぎました。

3年前に、次の勤務先は奄美和光園と言われた時、「奄美ってどこ？」と聞いたのを思い出します。それほど自分には親しみが少ない地名でした。地図で探してみると南にある島で、鹿児島県なのに沖縄の方が近いのに驚きました。また単身赴任かと思いながら生活してみると、一年を通し温暖な気候で自然も多く、海もきれいで、とて

も過ごしやすい環境でした。

4月1日からは、熊本県の菊池恵楓園に異動します。勤務するのは2回目で、自宅からもだいぶ近くなります。奄美大島を離れる事になりますが、機会があれば観光で遊びに来たいと思います。

皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

会計班長 山口 春成

奄美和光園に勤務して

国立病院機構長崎病院から赴任してあっという間の3年間でした。

初めての国立ハンセン病療養所での勤務、離島での生活と不安でいっぱいの始まりでしたが、入所者の皆さま方とのふれ合い、職員の方々の支え、素晴らしい自然環境の中でとても充実した生活を送ることができました。

最後に奄美大島が世界自然遺産に登録されることを祈っています。3年間お世話になりました。

会計係長 椎原 和史

奄美和光園に勤務して

皆様とすごした和光園での日々は、ただ感謝の日々でした。

ぱっと見は優しげですが、そつけない対応がスタンダードな私は悪い意味でのギャップをつねに晒し続けていましたがそんな私に最後まで仕事をさせていただき感謝の念に堪えません。

一部では大好きなハンバーガーを食することができるからとか、水族館で1日中水槽を眺めることができるから喜び勇んで沖縄へ行ったと思われているかもしれません

が決してそんなことはないのです。

人間関係の構築に自信のない私は相手の問い合わせに常に3~4通りのパターンを考え「どうすれば相手に不快な思いをさせな

いか」そんな思考を重ね、結局のところ無表情で対応してしまうといった事を繰り返した日々でした。

かつて、林子平は「日本は海で世界と繋がっている」と言ったとか。しかしながら一介のデブにはなかなかに超えられないハードルです。気分は阿倍仲麻呂です。

長くなりましたが、どうか皆様お元気で、幸い多き日々であることを心より祈ります。本当に感謝しております。

ありがとうございました。そしてさようなら。

医事係長 津下 徹

お世話になりました

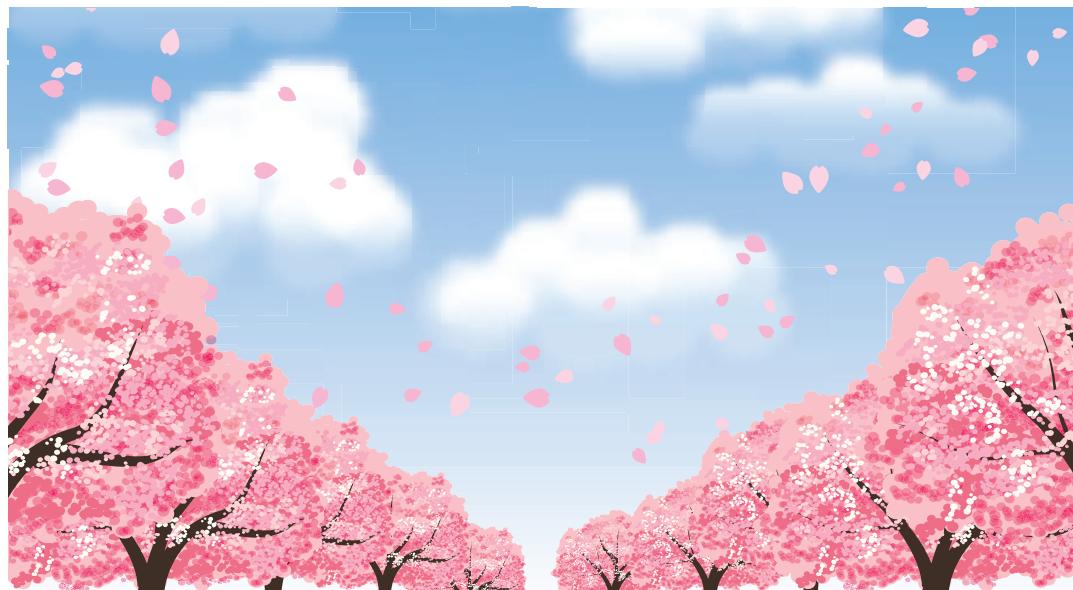
地元に戻ることができましたが、3年間があっという間に過ぎてしまいました。入所者・職員のあたたかいお気持ち、笑顔にふれ心地良い時間でした。

菊池恵楓園に赴任することになりましたが、ここでの経験を活かして頑張っていき

たいと思います。

また、定年まで数年ありますので和光園に戻ることがありましたら、その時はよろしくお願ひ致します。

病棟 看護師長 赤崎 由紀子



新人紹介

**副總看護師長 林 理恵 (はやし りえ)**

4月1日付で福岡東医療センターから副總看護師長として参りました林です。出身は福岡県北九州市で、初めての奄美大島での単身赴任生活は、大好きな自然が間近にあり、なにもかも新鮮に感じられます。ハンセン病療養所での勤務は初めてでご迷惑をおかけすることと思いますが、入所者の方々が安心して過ごしていただけけるよう精一杯努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

会計班長 藤川 浩治 (ふじかわ こうじ)

4月1日より会計班長で参りました、藤川と申します。10施設目、ハンセン病療養所は2施設目で、単身赴任17年目、初の鹿児島県勤務で、初の離島勤務となりました。出身は熊本県で、自宅は福岡市にあります。趣味の車を福岡に置いているので、2ヶ月に1度は乗らないとバッテリーが上がってしまいます。



早く慣れて役に立てるようになりたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

**会計係長 石丸 和彦 (いしまる かずひこ)**

4月1日付で沖縄愛樂園より配置換で参りました、石丸と申します。

出身地は佐賀県です、今まで医事係の経験が多く、会計の仕事は久しぶりとなります。

皆様に迷惑をかけないように、早く仕事にも慣れ、奄美大島を楽しめるようになれるようになりたいと思います。よろしくお願ひいたします。



医事係長 池田 新一郎 (いけだ しんいちろう)

熊本県合志市の菊池恵楓園から参りました。鹿児島県の施設は2度目ですが、奄美大島は初めてです。南国のイメージから、転勤に際しては冬物を結構処分してきたのですが、4月半ばでも夜はそこそこ冷え込むので、いきなり勝手が違って困っています。

早く奄美大島の風土に慣れて入所者の皆様のお役に立つよう頑張ってまいりたいと思いますので、よろしくお願ひします。

**不自由者棟 看護師長 鎌田 マキ (くぼた まき)**

ご無沙汰しております。1年間、鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校に勤務し、また奄美和光園に戻って参りました。鹿児島では、在宅看護分野を担当し、主に鹿児島市内の訪問看護やデイサービス・保健活動について学生と共に学んできました。鹿児島の灰に驚き、命がけで運転し働く日々。そのなかで、島を離れたからこそ自分の「当たり前」を見直し、多くの気付きを得た気がします。また再会の縁をいただきましたので、共に過ごせる時間を大切に務めたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

福祉室 福祉係 栄 久美 (さかえ くみ)

皆様、はじめまして。

4月1日より福祉室にて勤務させて頂くこととなりました栄久美と申します。出身は奄美市名瀬です。夫・小学4年の長男・5才の次男の4人家族です。

まだまだ不慣れで、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、少しでも早く入所者の皆様に信頼して頂けるようにがんばりたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。

**庶務課 給食係 調理助手 中 美由紀 (なか みゆき)**

皆さん初めまして。この度給食の調理助手として入職しました中美由紀と申します。出身は奄美市名瀬で娘が3人います。入ったばかりで覚えることもたくさんありますが、入所者の皆さんのために美味しい食事を作れるように精一杯頑張りたいと思います。これからよろしくお願ひ致します。

歯科衛生士 松原 ゆかり（まつばら ゆかり）

5月より入職しました、歯科衛生士の松原です。出身は瀬戸内町です。鹿児島の専門学校を卒業後、奄美に戻ってきました。以前も多職種の方々と関わりながら仕事をしていたので、多職種の方々と関われる環境をとても嬉しく思います。また、入所者の皆さんには寄り添う事を第一にして、微力ながら誤嚥性肺炎予防に努めたいと思います。



節分・豆まき



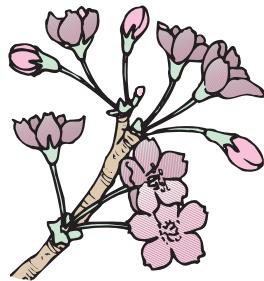
令和2年2月に各部署で恒例の節分の豆まきが行われました。ゆらいの郷ではあすなろホールに入所者5人が集まったところに職員扮する鬼が現れると、「鬼はーそと」「福はーうち」の掛け声とともにに入所者と職員が一丸となって鬼に目がけて豆の代わりに紙で作ったボールを投げていました。私は鬼として参加しましたが入所者の皆さんのが投げるボールの力強さに圧倒され、あっという間に退散してしまいました。

入所者と職員で笑顔溢れる楽しい時間を過ごし、厄除けと今年一年の福を呼び込むことが出来ました。

不自由者棟 看護師 大黒 将志



お花見会



去る令和2年2月13日に令和の御代になつて始めてのお花見会が開催されました。

今年は、例年になく緋寒桜が爛漫と咲き誇るなか、記念公園で久々に行えるかなと思っておりましたが、この時期特有の雨模様の天気となり、急遽あすなろホールで行うこととなりました。事前に園内の緋寒桜をカメラで納めたスライドのセットや会場、音響設営を行い無事開催することが出来ました。

冒頭に、園長の挨拶そして事務長の乾杯の後、保育園の園児のかわいい歌声「鬼のパンツ」から始まりました。入所者の方々にもこやかにされ時折手拍子をされ楽しまれておりました。次は入所者の方々の番です。「目ン無い千鳥」「くちなしの花」などご自慢の曲をカラオケ演奏に合わせて美声を披露していただきました。場内からはたくさんの方々が拍手が沸き起こりました。前半の

部の最後を飾ったのは、副園長以下3名の職員による「星のフラメンコ」です。入所者の皆さんも素晴らしい歌と踊りに酔いしれました。入所者、職員、保育園児みんなで、お弁当を食べながらの楽しい歓談の時をはさみ後半の部となります。芸達者ぞろいの看護課職員による「奄美のさすらい千鳥」「東村山音頭」「花・徳之島小唄」など後半も大変盛り上がり、「島のブルース」をみんなで踊りフィナーレを迎えました。最後に総看護師長の挨拶で閉宴となりました。

あつという間に過ぎたお花見会でしたが、入所者の方々にとっても春の季節を感じる楽しいひとときだったのではないかと思います。

また忙しい中、お花見会の準備や余興の練習など頑張って頂いた職員の皆様に感謝申し上げます。

事務長 横山 嘉雄



令和元年度 国立ハンセン病療養所研究委員会の開催

緋寒桜も咲きそろった1月29日、今年度は和光園が幹事となり国立ハンセン病療養所研究委員会を開催しました。現在、全国の療養所のうち9施設に副園長が在任しています。園長は年に何回か会議がありますが、副園長の集まる機会は、この委員会しかありません。輪番制で幹事となつた療養所にて開催されるため、遠路はるばる6名の副園長が来島してくださいました。

それぞれの療養所の環境や歴史は異なりますので、まず和光園を理解していただくため、園内の見学、園長講話、福祉係より和光園の歴史の説明を依頼しました。私自身、部分的な知見であったことが、ストーリーとして聞くことができ、とても勉強になりました。

さて、この委員会の幹事の最も大きな仕事は、「研究」をすることです。私は、皮膚科専門医として、またフットケア指導士として、以前から興味のあった「高齢者の多い各施設において、皮膚癌はどの程度発生するのか?」「皮膚癌の発生に緯度は影響するのか?」「裏キズ(足底潰瘍)からの瘢痕癌発生頻度が多いのか?」をテーマにし、各施設にアンケートを依頼したところ、12施設から協力を得ることができました。

2009年～2018年の10年間で合計95名の入所者に156件の皮膚癌が発生していました。発生率は本邦の全国統計と差はありませんでした。また東北地方と九州・沖縄地方との皮膚癌発生率に差はありませんでしたが、122件(78%)が頭頸部に集中しており、紫外線の影響を示唆する結果でした。瘢痕癌は13件(8.3%)に発生し、足底から発症した皮膚癌7件はすべて瘢痕癌でした。裏キズだけでなく、熱傷後の瘢痕や、慢性潰瘍からも瘢痕癌は発生するため、注意が必要です。

委員会の最後には、各施設が悩んでいる問題をざっくばらんに語り合いました。いずれも簡単に解決できる問題ではなく、各施設の入所者にとって最もよい方法を探りながら、悩みながら、進めていくしかないのだと思います。予定時間を大幅に超過しても結論に至ることはなく、帰宅ラッシュの時間を気にして閉会せざるを得ないのでした。きっと来年度の委員会も、同じように悩み相談会になるのではないかと思います…

副園長 馬場 まゆみ



生物学的製剤使用施設認定取得

皮膚疾患の一つに「乾癬」という病気があります。自らの免疫が過剰に働いてしまうために、赤い斑点や、鱗のような厚いフケができるのが特徴です。10年前から過剰な炎症のメカニズムを止める薬が次々と開発・発売されましたが、使用にあたっては注意事項も多く、日本皮膚科学会の認定を取得した限られた施設でしか治療ができません。

当園は審査基準を満たさないため、従来通りの治療を行ってきましたが、病気を十分に抑えることができず、学会に参加して新しい薬の効果を示す発表や講演を聞くたびに、当園で行っている治療が「古い治療」であることを実感し、患者さんに申し訳なく感じていました。しかし、島の医療の中核を担う県立大島病院であっても審査基準を満たすことができず、新しい治療を行うためには、患者さんに何回も鹿児島大学病院などを受診していただく必要があり、勧めるべきか悩んでいました。

昨年12月、鹿児島大学の准教授による講演会が奄美大島で開かれた際、「県立大島病院と奄美和光園が連携すれば審査基準を満たすことができるのでは？」と話を持ち上がり、鹿児島大学と県立大島病院の全面バックアップをいただき、2月6日付で県内7番目の生物学的製剤使用施設に認定されました。

今まででは治療開始前のスクリーニング検査、治療開始～安定するまでの数ヶ月、治療開始後のモニタリング検査と、頻繁に鹿

児島に行く必要がありました（図1）。今回の審査では離島事情を説明し、「本人の状況や天候により鹿児島へ行くことができない場合には、治療開始前のスクリーニング検査を県立大島病院で行っても良い」と、特別ルールを認めていただき、1次検査を県立大島病院で、2次検査を鹿児島大学病院で行う流れを考えています。この方法であれば、鹿児島大学病院の受診が1回で済み、他はすべて奄美大島で行うことができるようになりました（図2）。鹿児島本土でしか開始できなかつた治療が、奄美大島でも開始できるようになり、へき地や離島における乾癬治療に新しいスタイルが生まれたことになります。薬剤が高額のため、実際に治療を選択される患者さんがどの程度いらっしゃるのか現時点では未知数ですが、一人ひとりにテーラーメイドな医療を提供できるよう、地域でのチーム医療を目指します。

島に赴任した2011年の皮膚科外来再開に始まり、2013年：保険入院制度開始、2014年：専門医研修施設認定取得、2020年：生物学的製剤使用施設認定取得と、類似の問題を抱えた施設・地域のモデルになれるよう、頑張りたいと思います。

副園長 馬場 まゆみ

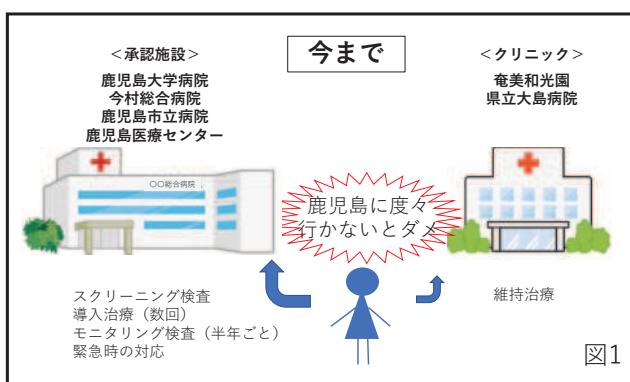


図1

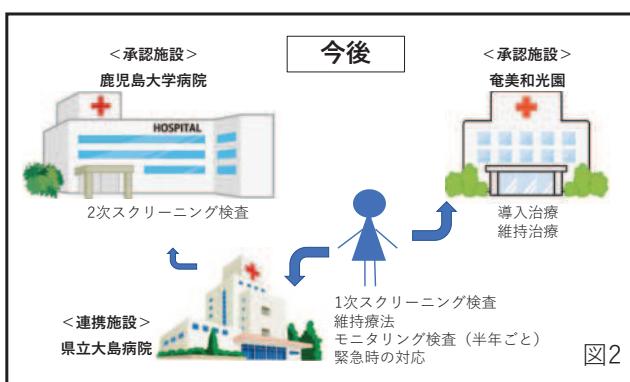


図2

社会交流会館 工事始まる

2020(令和2)年1月、当園の老人会館を改修して社会交流会館(歴史資料館)を設置する工事がやっと始まった。竣工は、現時点で2020(令和2)年5月20日の予定である。

2009(平成21)年「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律(平成20年法律第82号)」が施行され、ハンセン病の貴重な歴史を残すため全国の国立のハンセン病療養所に社会交流会館等の歴史資料館の設立などが行われている。当園以外の12の国立のハンセン病療養所の歴史資料館は既に開館しており、開館していないのは、当園のみとなっている¹。

当園の社会交流会館は1階建てで、広さ



は10m×8m=80m²である。現在、旧納骨堂をはじめとする歴史的建造物の説明板を設置し、社会交流会館企画・運営委員会ワーキンググループを開催して展示内容を検討するなどして、開館の準備を進めている。現在、当園の入所者数は、13施設の中で最も少なく、20名となっており、開館が急がれるところである。

福祉室 福祉係 岩辻 好夫

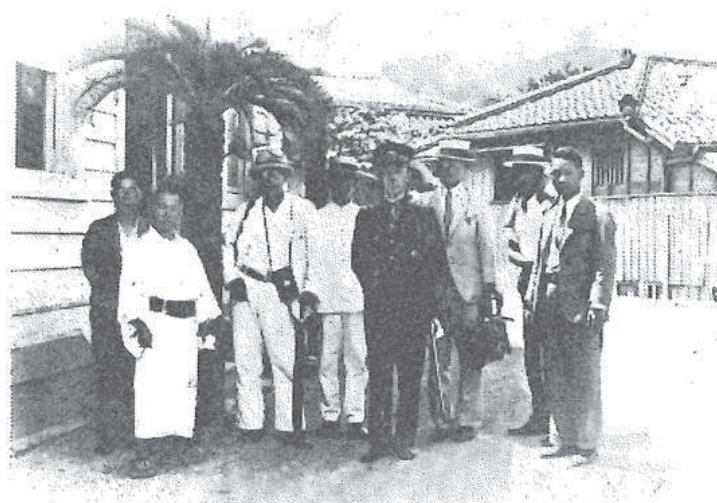
¹ 国立ハンセン病資料館ホームページ 全国のハンセン病博物館所在地図 <http://hansen-dis.jp/00oth/link>

奄美和光園の歴史 パートⅠ

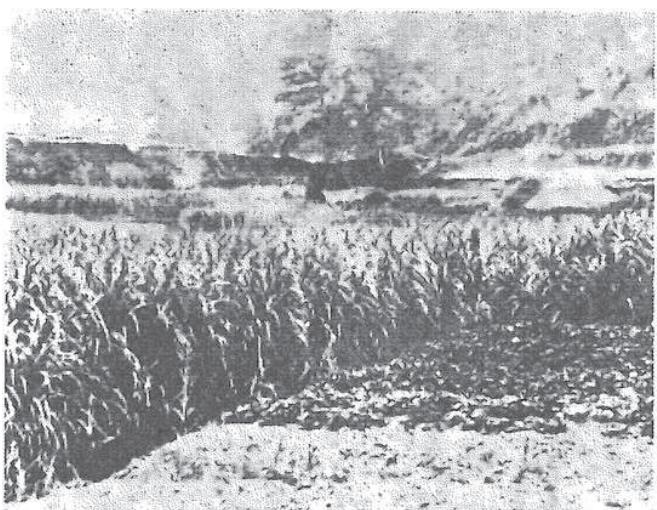
(1) 開園の頃

奄美大島では、今から80年以上前の昭和10(1935)年7月9, 10日、林文雄先生¹により輪内地区²大熊集落の全住民の一斉検診が行われ、1200名の中から21名のハンセン病患者が検出された³。その当時、奄美大島にはハンセン病の療養所がなかったため、その患者達は九州療養所(現在の国立療養所菊池恵楓園、熊本)、国立療養所星塚敬愛園(鹿児島県)に入所している。

この様な中、昭和15(1940)



林文雄の検診 左から三人め。



年5月8日、国会の承認を受けて厚生省は正式に鹿児島県知事に対して大島郡に国立療養所を設置することを命じている⁴。奄美大島の輪内地区三方村有屋に療養所の設置が決定されたが、当初は設立反対運動が起き、設置は困難を極めた。その後、輪内集落代表者達と5～6つの約束をすることにより療養所設置反対運動は終結した。その約束のうちの一つが、「輪内集落に急病患者が発生した時は、療養所の医官の往診が頂けること。」である⁵（注：「医官」とは医師のこと）。輪内集落代表者達との約束は、「輪内診療部」と呼ばれて地域医療を支えた⁶。奄美和光園は、設置当初から地域に根差した療養所としてスタートした。

福祉室 福祉係 岩辻 好夫

1 林文雄：国立療養所星塚敬愛園 初代園長

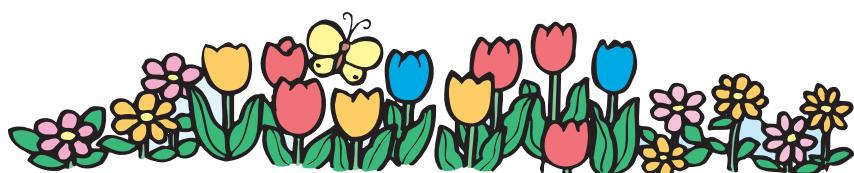
2 奄美大島旧三方村(みかたむら)の浦上、大熊(だいくま)、有屋、中勝(なかがち)の四集落を輪内(わうち)地区と称する。

3 光仰ぐ日あるべし 南島のハンセン病療養所の五〇年, 1993年8月10日, 奄美和光園記念誌編集委員, 濑澤英夫, 大和庸次, 原野毅郎, 竹山修一, 柏書房株式会社, p 35-p 37

4 同上 p 55

5 同上 p 61

6 創立70周年記念誌 国立療養所奄美和光園 平成25年(2013), 平成27年3月発行, p 111



食事を「どう食べるか」



今回のNSTニュースレターでは、食事について考える上では何を食べるかと同じくらいに「どう食べるか」が大事だという話をしたいと思います。

うちでは子どもと一緒に食事をする際に必ずかける言葉があります。「**よく噛んで** 食べてね。」「**姿勢をよくして** 食べようね。」の2つです。この2つを、食事中に繰り返し伝えているのですが、先日息子から「どうしてそんなに大事なの？」と聞かれて、そうかそうかと考えを整理してみました。昔から躾としてよく言われているこの2つは、子どもたちだけでなくどの年齢においても重要であると気づかされたので、皆さんにお伝えしたいと思いました。

まずは、「**よく噛んで食べる**」についてですが、これがもたらす効果は大きく分けて**3つ**あります。

①消化をよくする

噛むことで食べ物をすりつぶし、さらに唾液や消化液が出やすくなります。食べたものは消化されることで体内に吸収し活用されます。この、消化・吸収の働きは噛むことからはじめられます。

②口の中の健康を保つ

唾液には口の中をきれいに保つための成分が含まれています。よく噛むことで唾液の量が増え口の中をきれいに保つのを助けます。

また、よく噛むことで、あご、頬、舌の筋肉が鍛えられます。これらの筋肉が落ちると食事中のむせの原因になることから、筋力維持の意味でもよく噛むことは重要であることが分かります。

③脳を活性化する

食べ物を五感で味わい噛むという行為によって、脳神経が広範囲で刺激され脳の働きが活発になります。認知症予防にも、よく噛んで食べる事が重要であると考えられています。

次に、「**姿勢をよくして食べる**」についてです。これに関しては、効果は大きく分けて**3つ**あるとされています。

①消化・吸収をよくする

猫背の状態になると、食道が曲がり胃も圧迫されることで食べ物が胃に入りにくくなるだけでなく、胃にとどまることで消化を妨げることになります。

②よく噛むことができる

噛むという行為は想像以上に大きな力を必要とします。そのため、正しい姿勢で体を安定させることでしっかりと噛む力が発揮されます。

③体の筋肉が保たれる

食事時間の約30分間を、背筋を伸ばしてテーブルに肘をつかずに過ごすことで全身の筋肉を活用することになります。筋肉を維持することだけがをしにくい体づくりとなります。

このように、噛むという行為と正しい姿勢は2つ合わせることで効果が十分に發揮されます。食事は生きるために欠かせない大切な時間です。しかし、毎日当たり前に行うため、自分がどのように食べているか無意識の部分が多いと思います。ひと口何回噛んでいますか？食べる時の背筋は伸びていますか？体は傾いていませんか？まずは自分がどのように食べているか振り返ってみるといいかもしれませんね。大切な時

間を意識化して、健康を守りましょう。私たちNST委員会も応援したいと思っています。食事やNSTについて気になることがあれば、まずは身近な看護師にご相談ください。

摂食・嚥下障害看護認定看護師

重原 恵美



令和元年度 診療統計

	外来診療					再掲		入院診療		
	初診(人)	再診(人)	合計(人)	1日平均(人)	診療実日数(日)	紫外線療法(件)	手術/生検(件)	入院(人)	退院(人)	延患者数(人)
4月	168	289	457	38.1	12	74	8	0	0	0
5月	177	221	398	36.2	11	63	9	0	0	0
6月	191	263	454	37.8	12	68	10	0	0	0
7月	170	282	452	34.8	13	69	3	0	0	0
8月	154	256	410	34.2	12	62	5	0	0	0
9月	149	234	383	34.8	11	46	3	0	0	0
10月	158	245	403	36.6	11	60	7	0	0	0
11月	152	258	410	37.3	11	66	8	0	0	0
12月	144	291	435	36.3	12	66	7	0	0	0
1月	106	249	355	32.3	11	55	8	0	0	0
2月	123	228	351	35.1	10	48	4	0	0	0
3月	151	287	438	33.7	13	69	15	0	0	0
合計	1843	3103	4946	35.6	139	746	87	0	0	0

2018年8月から完全予約制導入。
入院加療を必要とする重症患者なし。



学会発表

第184回日本皮膚科学会鹿児島地方会

(令和元年7月7日・鹿児島市)

- ・増殖性タール・ピッチ皮膚症の1例

- ・足底に生じた pyogenic granuloma の1例

第49回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術集会

(令和元年11月29日～12月1日・横浜市)

- ・櫻およびマンゴーの接触皮膚炎の統計と交叉反応率の検討

論文発表

西日本皮膚科81巻3号

- ・奄美大島における2011年から2018年のヌカカ刺症の検討

2019年度 手術/生検 内訳(件)



悪性腫瘍内訳
日光角化症 1
有棘細胞癌 1
基底細胞癌 1

人事異動

(令和2年2月1日～令和2年5月1日)

R 2. 3. 31

元久	明子	介護長	定年退職
若師	和之	洗濯長兼看護助手	定年退職（再任用）
橋口	君子	看護助手	定年退職
窪田	理栄	歯科衛生士	定年退職（再任用）
谷村	優子	副総看護師長	定年退職
恵	浩一	外科医長	退職
牧山	益和	調理助手	退職
押川	英子	福祉係	再任用（任期満了）

R 2. 4. 1

山口	春成	会計班長	菊池恵楓園へ
椎原	和史	会計係長	星塚敬愛園へ
津下	徹	医事係長	沖縄愛楽園へ
赤崎	由紀子	看護師長	菊池恵楓園へ

藤川	浩治	会計班長	菊池恵楓園より
石丸	和彦	会計係長	沖縄愛楽園より
池田	新一郎	医事係長	菊池恵楓園より
林	理恵	副総看護師長	NHO福岡東医療センターより
窪田	マキ	看護師長	NHO鹿児島医療センターより

栄	久美	福祉係	非常勤職員
中	美由紀	調理助手	非常勤職員

R 2. 5. 1

松原 ゆかり 齢科衛生士 採用

和光園日誌

(令和2年2月1日～令和2年4月30日)

- R 2. 2. 6 園外ショッピング（ビッグⅡ）
 2.20 園外ショッピング（タイヨー）
 3. 5 園外ショッピング（ビッグⅡ）
 3. 6 看護研究発表会
 3. 19 園外ショッピング（タイヨー）
 4. 1 辞令交付式
 4. 2 新任オリエンテーション
 4. 3 新任オリエンテーション
 4. 16 園外ショッピング（ビッグⅡ）

今後の行事予定

夏まつり 中止 / 敬老会 未定



世間は、新型コロナウイルスによる影響で様々な活動が制約されています。

当園でも毎年行っていた新人合同歓迎会や園外レクリエーションも中止となり、入所者の皆さんが楽しみにされていた行事ができない状態となっています。

早くこの新型コロナウイルス騒動が終息し、世の中が落ち着きを取り戻すことが出来ればと思います。協力し合いながらこの危機を乗り越えていきましょう。

今後ともよろしくお願ひいたします。

編集委員 綾部 純一